CDC

(Concept CD Player)

取扱説明書

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9

Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778

<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

安全のための重要な注意事項 2
＜保護＞ 2
1. はじめに 3
2. パッケージ内容 4
3. 設置 5
輸送ネジ 5
セットアップ 5
リモートコントロール 6
ACSP-II パワーサプライ 6
グランドコネクターの使用 6
オーディオ接続 7
リアパネル / 接続部 7
フロントパネル / コントロール部 8
メインセレクター 8
ディスプレイ 9
基本的機能 10
4. その他の機能 14
リモートモード 14
タイムモード 14
PROG（プログラム）モード 15
SCAN（スキャン）モード 15
SHAFFLE（シャッフル）モード 16
REPEAT（リピート）モード 16
リピート A/B モード 16
5. メンテナンス 17
クリーニング 17
レーザーレンズ 17
6. アフターサービスについて 18
7. 仕様 19
8. 問い合わせ先 20

安全のための重要な注意事項

・本機をご使用になる前にこのマニュアルをお読みください。
・定格電圧AC 100V にてご使用下さい。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・ AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本体を開けないようにしてください。本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
・室内温度が5℃～40℃の範囲でご使用下さい。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。

注意：本機は CD の上に CD マットを載せてご使用にはなれません。CD を二枚重ねて使用することもできません。CD ディスクのみを読み取る機器ですので、CD-V, CD-I, CD-ROM, フォト CD, DVD は読みませんのでご了承ください。

＜保護＞

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

★ この説明書には本機の正しいセットアップと使用法が書かれています。本機をセットアップまたは使用する前に必ず最後までお読み下さい。故障につながるような誤用の場合は、保証期間中であっても保証いたしかねますのでご注意下さい。

1. はじめに

ナグラ CDC をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。

CDC はプロオーディオ、国家安全保障、軍事産業などにおいて半世紀の経験を持つクデルスキーグループのエンジニアチームによって設計、制作、製造された世界最高水準の製品です。

1951 年の創業以来、ナグラは音質の絶対評価において、信頼された製品をお届けしてまいりました。その製品に対しては数多くの賞を頂いておりますが、アカデミー賞オスカーを3回、エミー賞を1回は特筆に値するものと自負致しております。

ハイファイ製品や現場録音機は同一のエンジニアリングチームによって制作されました。ナグラの制作哲学は技術革新と最新技術を高品質製品の製造において惜しげもなく使用することでもあります。ハイエンドオーディオ製品は確信的なデザインによって、ナグラ独自の専門知識の新たな活躍分野を目指します。

ナグラ製品をお求めくださいまして、心より深謝申し上げます。

Paul Relim

2. パッケージ内容

CDC は一つのパッケージに梱包されています。
ユーザーマニュアルのほかに次のパーツが梱包されております。

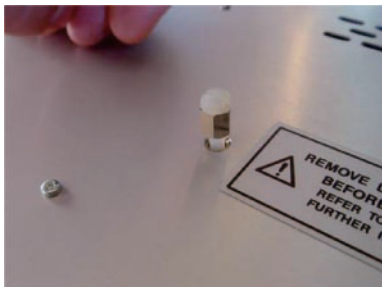
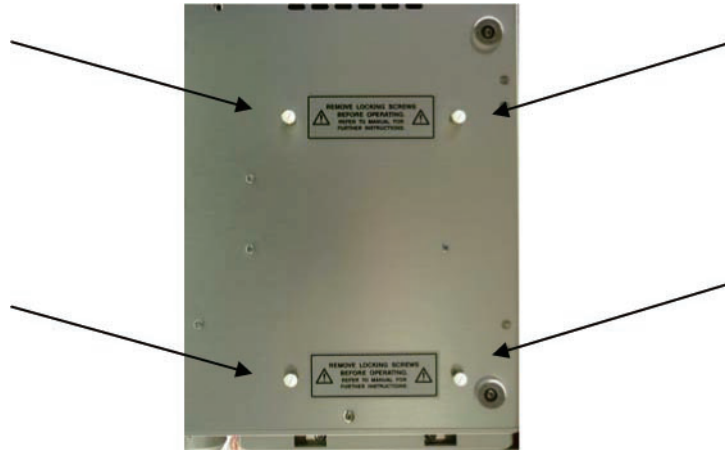
- AC 電源ケーブル
- 3P アダプタ
- ACPS II 外部パワーサプライ
- RCU II リモートコントローラー
- 9V 電池（リモコン用）
- マグネティック クランプ

注意 : 付属の AC 電源ケーブルは、本機 専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品はナグラ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

3. 設置

輸送ネジ

4本の輸送ネジを外します。
プレイ（再生）メカを輸送中に支えるロックネジを外します。写真はプラスティックになっていますが、製品は金属ネジになっております。
ご使用の前には必ずこの輸送用ロッキングネジを外してください。ネジを外すにはマイナスドライバーか六角スパナを使用します。

<u>注意：ロッキングネジを締める場合には、最終段階での締め付けは絞め過ぎないように十分注意して（ドライバーなどを使用せずに）指で行ってください。</u>

移動することも考えて、このネジは必ず保管ください。

<u>注意：この段階で CDC をお持ちになるときには、トレイはロックされておりませんので、トレイが出てこないように CDC を若干後ろに傾けてお持ちください。</u>

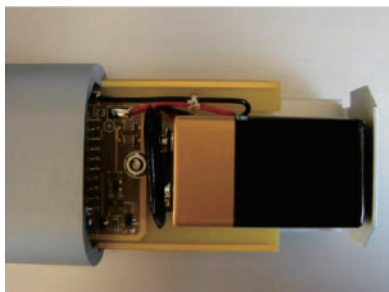
セットアップ

電気ショック、発火などの事故に備え、本機を雨滴や湿度の高い空気にふれないようにして設置します。

CDC を振動のない棚に、完全に水平を保って置きます。底には通気口があります。空冷のためにこのスロットをふさがないよう、またトレイがスムーズに出てくるように、フロント、下部にはスペースを空けて設置してください。

CDC のトップカバーにはこの上に他の機器を載せ得ることができるように、スパイク受けのピットが3カ所あります。別売でナグラ CDC、CDP、CDT、PL-L、PL-P のスパイクキットが入手できます。

リモートコントロール

9V電池で動作するリモコンハンドセットです。アルカリ電池を使用してください。

リモコンを逆さまに持って、ネジを外します。電池格納部をスライドさせ電池を入れます。再び格納部をスライドさせ､リモート本体に収納します。その後、ネジ止めします。

電池は化学物質を含んでおりますので、使用し終わったら、適切に処分をお願いします。

ACSP-II パワーサプライ

フロントパネルセレクターを「OFF」にします。LEMO プラグを POWER IN に差し込みます 。

LEMO ピンには赤い丸印がありますが、この赤丸が上に見えるように差し込みます。きちんと差し込めればカチッとロックした音がします。

LEMO ピンがロックされましたら、付属の AC パワーコードを ACPS-II パワーサプライに接続します。
この段階で ACPS-II パワーサプライの LED は点灯します。LED は DC 出力ができていることを示します。LED が点灯しない場合、AC コードの接続を確認してください。

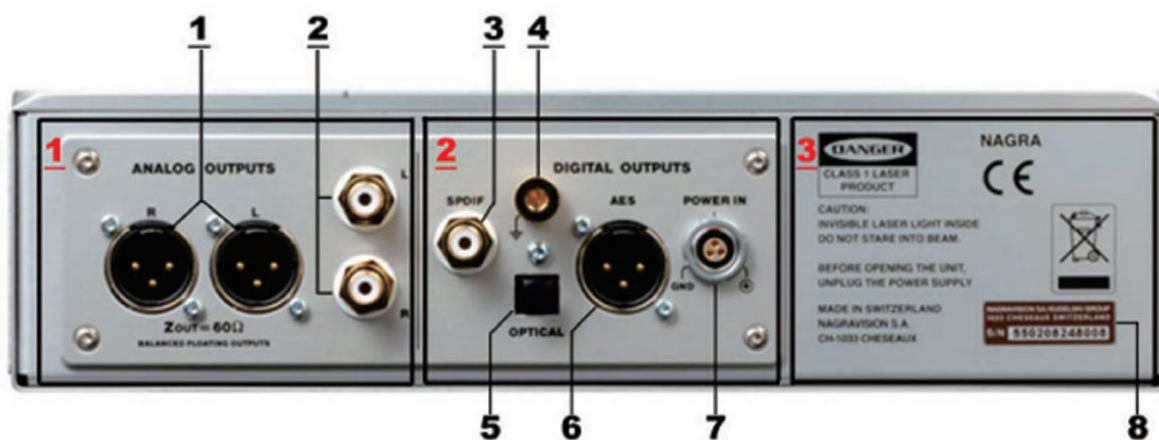
LEMO ピンの外し方 :
ピン廻りの部分を写真のように持ち、引き抜きます。

グランドコネクターの使用

CDC は直接シャシーとつながっているコネクターをもっています。これは各種オーディオ機器のアースを可能にします。
この接続は機器によってはその機器に損傷を与える場合があります。詳しくは販売店もしくは当社にお問い合わせ下さい。

オーディオ接続

機器を接続する前に全てのご使用になる機器のスイッチがオフになっていることをご確認してください。
接続部分は後ろ側のリアパネルか、もしくは本機の右側パネルに付いています。この位置を変更したい場合は、販売店にご連絡ください。

リアパネル / 接続部

＜ (1) アナログ出力＞

1.....XLR バランス出力
2.....RCA アンバランス出力

＜ (2) デジタル出力、およびパワー入力部＞

3.....SPDIF　デジタル出力（RCA）
4..... アース端子
5..... トスリンク光デジタル出力
6.....AES/EBU デジタル出力
7.....LEMO パワー入力

＜ (3) ID プレート＞

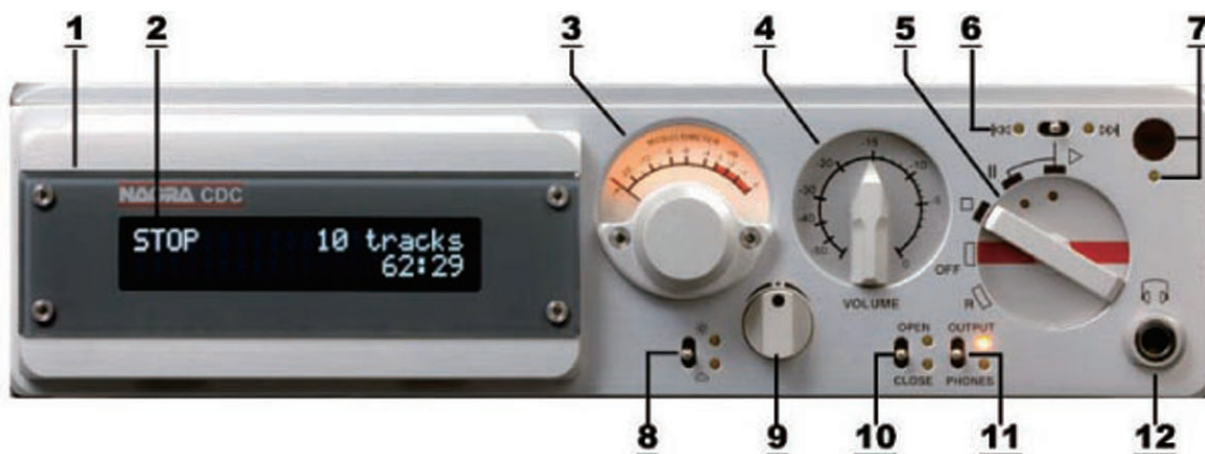
8..... シリアル番号

リアパネル出力はデジタル、アナログの出力部に別れます。RCA、XLR 出力からパワーアンプもしくはプリメインアンプに接続します。アナログ出力レベルは変更可能ですので、変更したい場合には販売店にお問い合わせください。

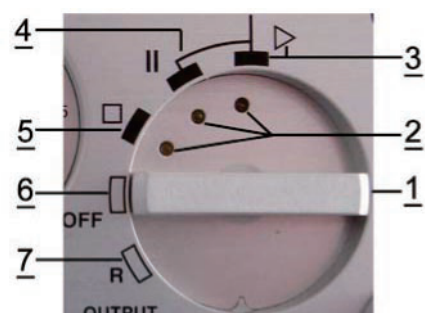
CDC デジタル出力は次の3種類用意されています。

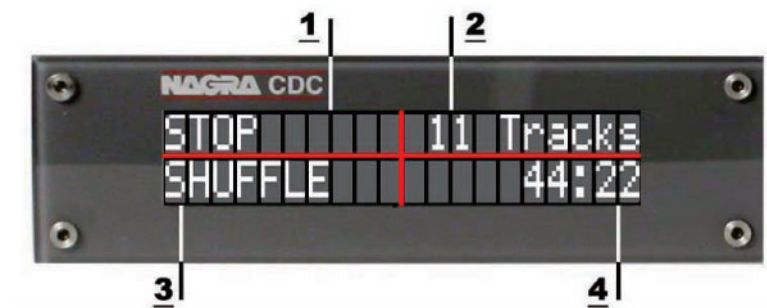
・SPDIF
・AES/EBU
・TOS LINK

この出力は他の DA コンバーターをご使用になるときに接続します。本機の出力スイッチ（P.8「フロントパネル」の 11 参照）が OUTPUT にセットされた場合、アナログ、デジタル双方の出力が作動します。
本機の出力スイッチが PHONES の位置にある場合には、アナログ出力は作動しません。デジタル出力のみ作動します。

フロントパネル / コントロール部

1 .... CD ローディングトレイ
2 .... ディスプレイ
3 .... モジュロメーター
4 .... 出力レベルコントロール
5 .... メインコントロール
6 .... 早送り、又は戻り
7 .... リモコンレシーバー（状況確認 LED）
8 .... ディスプレイ輝度調節（7段階）
9 .... 左右バランス
10............. ローディングトレイ開閉
11............. ヘッドフォン、アナログ出力スイッチ
12............. 6.35mm ジャックステレオヘッドフォン入力

メインセレクター

1 .... メインセレクター
2 .... LED
3 .... プレイ
4 .... ポーズ
5 .... ストップ
6 .... オフ
7 .... リモートコントロール

ディスプレイ

このディスプレイはローディングトレイに付いており、プレイ（再生）の状況を知らせます。トラック、タイムはディスクのサブコードを読み取ることによって表示します。

1 .... アクティブ機能 : ストップ、プレイ、オープン、クローズなど
2 .... トラックディスプレイ : 現在再生中のトラック、又は TOC
3 .... 機能モード : リピート、シャッフル、イントロスキャン、エラーメッセージ
4 .... 時間表示 : 現在、トータル時間、残時間

ストップモードで新しいディスクをロードしたとき、ディスプレイはトラック総数、ディスクの再生時間を表示します。

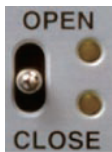
基本的機能

CDC パワーアップ

メインセレクターを「STOP」■の位置へ。（又は「R」－リモートを使用の場合）
ローディングトレイが空の場合には ″NO DISC″ と表示されます。
ディスクが挿入されている場合には、ディスプレイはトラック総数と演奏時間を表示します。
演奏には「PLAY」▶の位置に回します。

CDC のスイッチを切る

メインセレクターを「OFF」にします。

ローディングトレイの開閉

フロントパネルのスイッチ（P.8「フロントパネル」の 10 参照）を使用します。
この機能は「STOP」又はリモートモード「R」の場合のみ作動します。
この機能を使用するには、開閉サイクルが完全に終了してから、ご使用になることをお勧めします。

CD ディスクを載せる

CDC ディスクローディングトレイは、開くと内部から照明がつきます。

ディスクを持って、（ディスクの面を抑えないように、両端を指で押さえる）印刷されている表面を上にして回転アクセルに合わせます。

写真のようにクランプを中心部に載せます。

CDC はクランプ確認システムがありますので、クランプが載っていない場合にはディスプレイに ″NO　CLAMP″ と表示されます。

CD フォーマット

CDC はオーディオ CD、CD-R、CD-RW フォーマットを演奏できます。

ディスクプレイ（再生）

メインセレクターを「PLAY」▶にします。

トラック操作

トラックの先送り、戻しは写真のスイッチ（P.8「フロントパネル」の 6 参照）を使用します。
次のトラックに送る場合：スイッチレバーを軽く▶▶|へ押します。
先のトラックに戻す場合：スイッチレバーを軽く|◀◀ へ押します。

現在のトラックの最初4秒以内に先のトラックへ戻るように|◀◀レバーを押した場合、一つ前のトラックに戻ります。
（現在のトラックの頭に戻らずに）

このコントロールレバーは早送り、早戻しをする場合には2秒以上押さえる必要があります。レバーを押している間、サーチスピードは上がっていきます。

ポーズ（一時停止）

演奏中にセレクターを「PAUSE」|| にします。ディスプレイは現在のトラックと時間を表示します。

演奏に戻すにはメインセレクターを「PLAY」▶に戻します。
もし停止した場合、ディスクの最初のトラックからスタートします。

ストップ

本機がプレイ（再生）、又はポーズ（一時停止）の場合、ストップ位置では演奏が停止します。
ディスプレイはトラック数を表示し、ディスクの頭に戻ります。

出力ボリューム

出力レベルコントロールレバーを使用します。−60dB から 0dB まで調整できます。

バランス

左右バランスは +/−3dB のバランス調整を行います。

ヘッドフォン出力

ヘッドフォン・アナログ出力スイッチ（P.8「フロントパネル」の 11 参照）により、ヘッドフォンを使用できます。ヘッドフォンにすればアナログ出力は自動的にオフになります。

注意：長時間ヘッドフォンを大音量でご使用になると、聴力の低下をきたします。ご注意ください。

輝度

CDC ディスプレイは7段階の輝度調節ができます。スイッチレバーで設定しますが、雲マークが輝度増大方向です。点灯マークはディスプレイの消滅まで持って行くことができます。本機をスイッチオフにするとその時点での輝度は記憶され、再びスイッチオンした時にオフ時の輝度で表示します。
ディスプレイがオフの場合には、コントロールレバーを下方向に押しますと、ディスプレイ、フロントパネル LED が点灯します。

モジュロメーター

ナグラステレオモジュロメーターを搭載しております。このメーターはナグラ V プロレコーダーのメーターと同じものです。CD に録音されている信号レベルを表示します。黒い指針は左チャンネル、赤い指針は右チャンネルのレベルを表します。

RCU-II　リモートコントロール

(1)........リモートコントロール割り当てセクション
RCU-II はリモート機能を備えたナグラ製品に対応します。1 ～ 6 までのボタンはナグラ製品を選別します。この選別は他の選別に合わせるまでそのまま作動します。CDC は4番にデフォルトセットされています。

本機は4番にデフォルトセットされていますが、変更したい場合は販売店もしくは当社までご連絡下さい。

(2)........マルチ機能キー

メイン機能
・プレイ（再生）、ポーズ（一時停止）、ストップ
・トラック飛ばし、早送り、早戻し
・ モード機能：時間、プログラム、スキャン、シャッフル、リピート、A/B

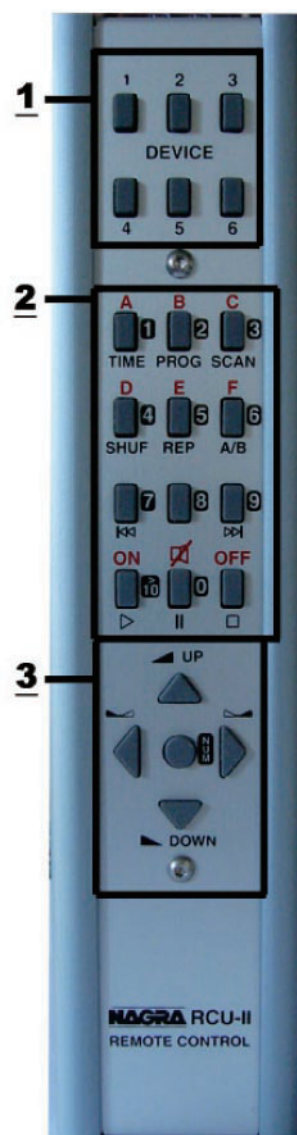
数字機能
「NUM」キー によって数字キーパッドが作動します。

赤字：DAC, PL-L MPA-RCMI に対するコントロールです。

(3)........ボリューム、バランス

上向き、下向きキーは音量のアップダウンです。
左 はバランスを左チャンネルにシフト、右 は右チャンネルにシフトします。

メインセレクターの位置に関係なくこのキーは作動します。
「NUM」キー はリモートコントロールの上記 (2) マルチ機能キーを数字機能に変えます。

1
1 2 3
DEVICE
4 5 6
2
A B C
1 2 3
TIME PROG SCAN
D E F
4 5 6
SHUF REP A/B
7 8 9
ON OFF
10 0
3
UP
DOWN
NAGRA RCU-II
REMOTE CONTROL

ダイレクトトラック選択

CDC がプレイ（再生）▶又はポーズ（一時停止）モード || の場合、リモートコントロールでダイレクトにトラックを選択することができます。「NUM」キー で数字キーパッドを動作させます。2種類のアクセスモードが選択できます。

・ キーパッドで素早くトラック番号を押します。例えば 1、次に 2 通せばトラック 12 を選択します。
・ 10 キー を使用する方法では、トラック 26 を選択したい場合、10 キー を2回、そして 6 を押すとトラック 26 に行きます。

1 ～ 9 までのトラックを選択する場合には最初に 0 を押し、素早くトラック番号を押します。例えば、0, そしてすぐに 6 を押します。

4. その他の機能

リモートモード

CDC は手動、リモート両方のモードで使用できます。

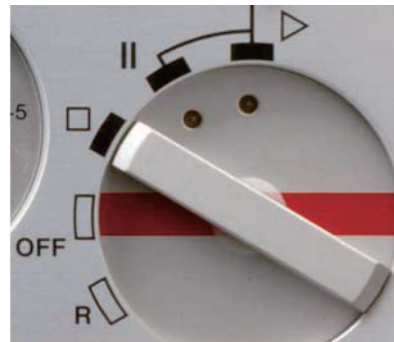
手動モードでは、リモートコントロールは次の機能を作動させます。

ファストサーチ、トラックスキップ、ダイレクトトラック選択、プレイ（再生）▶、ポーズ（一時停止）||、タイムディスプレイ、イントロスキャン、リピート、シャッフル

ストップモード■では、リモートコントロールはリピート、イントロスキャン、シャッフルモードに対応します。

リモートモードでは、リモートコントロールの全ての機能に対応します。

フロントパネルは輝度、トレイの開閉、ヘッドフォン・アナログ出力以外は作動しません。

リモートモードにするにはメインダイアルを R の位置にセットします。

タイムモード

プレイ（再生）モードで、お聴きのトラック番号と残り時間を表示します。

リモートコントロールの「TIME」キーは次の時間表示を行います。

- 残量時間
- 全時間
- お聴きの CD の総残量時間
- 時間表示消去

この機能はイントロスキャン、リピート A/B モードでは使用できません。総時間、残量総時間はプログラム、シャッフル、リピートワンモードでは使用できません。

一部の CD ではマイナスの時間表示が出る場合があります。これは、トラック間のカウントダウンです。

PROG（プログラム）モード

リモートコントロールの「PROG」キーはトラック順をプログラムします。
プログラムは 20 までです。
本機はリモートモード R にあり、ストップモード■にセットされていなければなりません。最初にこのキーを押すとプログラムモード開始となりトラック選別が用意されます。前進、後退スキップ機能キー又は、数字キーによる直接選択方法でトラックを選択できます。

トラック数を入力した後、「PROG」キーを押せば、その選択を有効にします。ディスプレイは3ゾーンで 1 ～ 20 の総プログラム数を表示します。ゾーン2で現在お聴きのトラック番号、ゾーン4ではその時間を示します。
プログラミングを終了するには「STOP」■ボタンを、プレイ（再生）を行うには「PLAY」▶ボタンを押します。

プログラムチェック

「PROG」によって、プログラムをチェックします。トラックオーダー番号をゾーン3, 関連トラック番号をゾーン2。続けてキーを押せば、ゾーン3にトラックオーダー番号、関連トラック番号をゾーン2に表示。

このサイクルの終わりにディスプレイはゾーン3にプログラムされたトラック数、プログラム時間をゾーン4に、そしてゾーン1に ″STOP PGM″ と表示されます。

プレイ（再生）中にポーズ（一時停止）キー || は一時的に演奏を停止します。「STOP」■キーはプログラムモードを消去して演奏を停止します。

早送り、早戻しキーはプログラムないでのトラック変換を行います。ファストサーチは現在演奏中のトラックのみで可能です。

「STOP」■キーを二回押すとプログラムキャンセルとなります。全てのプログラムが消去されます。

全ての、又は一曲をリピートする機能はプログラムモードで作動できます。このモードでは、プログラムの総時間は 240 分までになっています。

SCAN（スキャン）モード

イントロスキャンモード「SCAN」キーは各トラックの最初 10 秒を自動的に演奏します。<u>プログラムモードでは機能</u>

<u>しません。</u>

SHAFFLE（シャッフル）モード

シャッフルモードは CD のトラックをランダムに演奏します。リモートコントロールの「SHUF」キーで作動します。

REPEAT（リピート）モード

リピートモードはディスク全て、又はお聴きのトラックをリピート演奏します。表示は〞REPAET ALL〞,〞REPEAT

ONE〞となります。プログラムモードでも作動します。「REP」キーによってコントロールします。

リピート A/B モード

A/B モードは特定された時間位置でのリピートプレィバックを行います。A/B の位置は異なるトラックにある場合でも

作動します。

プレイ（再生）中に、希望する開始時点で「A/B」キーを押します。〞A〞のインジケーターがライトアップします。次に演奏中にリピートを止めたいところで「A/B」キーを押します。〞A/B〞インジケーターがライトアップし、A から B までのリピート演奏を行います。

「A/B」キーをもう一度押すと A/B モード解除となります。

プログラムモードでは機能しません。

5. メンテナンス

クリーニング

CDC ケースを清掃するには若干湿った柔らかい布で拭きます。クリーナーは使用しないでください。腐食する可能性があります。本機、バッテリー、リモートコントロールなどは、湿度の多い環境、雨の中、暑い環境内（室内暖房による加熱のおそれのある場所、直接の太陽光下など）に放置しないでください。

ローディングトレイはディスクを搭載、取り出し時以外には開放しないでください。レンズに埃が付着し、読み取りに支障をきたすこともあります。

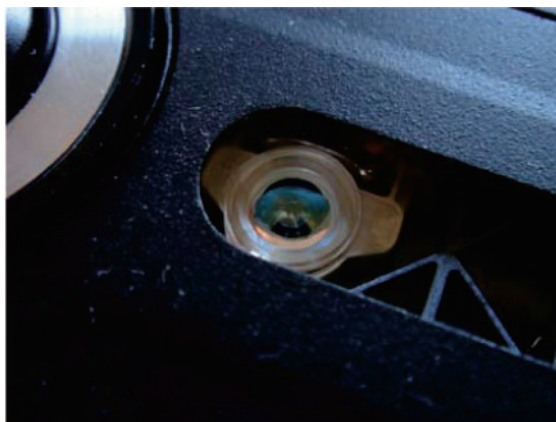
急激な温度変化（冷え切った環境から、暖かい環境への移動など）によって、水滴がレンズに付着することもあります。この状態ではプレイ（再生）は不可能です。温度が安定し水滴が蒸発するまで本機を放置しておきます。

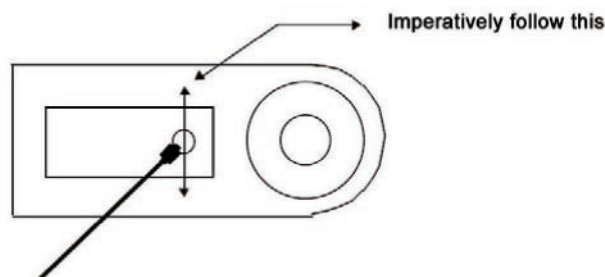
CD をクリーニングするには中心からエッジに向かって直線的に柔らかい、そして毛羽立たない布で拭きます。クリーニングのためのキットはディスクに損傷を与える場合もありますのでご注意ください。

CD には絶対に何かを書いたり、ラベルを貼るなどのことはなさらないでください。

レーザーレンズ

CD プレーヤーが読み取らなくなった場合、レーザーレンズを清掃できます。
この作業は細心の注意を払って行ってください。

レンズの表面に埃などがあることを想定し、それらがレンズに傷を付けないために空気を吹きかけて吹き飛ばします。写真用のブロワーなどをご使用ください。

粘着性のないレンズクリーナーを使用してクリーニングを行います。コダックレンズクリーナーなど写真用のものが良いでしょう。
少量を含ませた綿によってクリーニングします。軽く拭き取るように、右図の様な方向でそっと拭き取ってください。

これ以外の方法でクリーニングを行うとレンズを破壊するおそれがあります。十分注意してください。

6. アフターサービスについて

・同封の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後10日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより1年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

7. 仕様

フォーマット	CD Audio	
プログラミング	最大 20 トラック	
リモートコントロール	ナグラ RECS80 プロトコル	
D/A 変換	24 ビット オーバーサンプル 8 倍 （352.8kHz）	ASA アドバンスセグメントアーキテクチュア
周波数帯域	20Hz (0dB) ～ 20kHz (-1dB)	
S/N 比	108dB	ASA A により測定
THD+N	0.003% 以下	
チャンネルセパレーション	90dB	
インピーダンス	XLR/600Ω、RCA/50Ω	
出力レベル	3.5 Vrms (or 1 Vrms)	at 0dBFS
ヘッドフォン出力	6.35mm ジャック (1/4inch)	出力インピーダンス 50Ω
デジタル出力	AES/EBU (XLR) S/PDIF (RCA) TOSLINK(Optical)	1 系統 1 系統 1 系統
ジッター歪み	測定不能レベル	VCXO Nagra technology
外部電源	12V DC	
消費電力	連続：6W ／最大 12W	
重量	4kg	
サイズ	310(W)×254(D)×76(H)mm	

※本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

8. 問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027
東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F
TEL： 03-6225-2777（代表）
03-6225-2779（サービス課）
FAX： 03-6225-2778
ホームページ： http://www.taiyo-international.com